

卒業生調査 ～大学での学びと仕事について～

1 調査概要

本調査は、学生の卒業後のキャリアの状況を確認するとともに、在学中に身に付けたことや学びの満足度について卒業生自らが振り返り、卒業後の進路において本学の教育が活かされているかについて評価してもらうことにより、本学における教育成果・学修成果を検証し、今後の教育改善に役立てるための基礎的な資料とすることを目的として実施した。

本報告書では、アンケート調査の結果について、一部を抜粋して報告する。

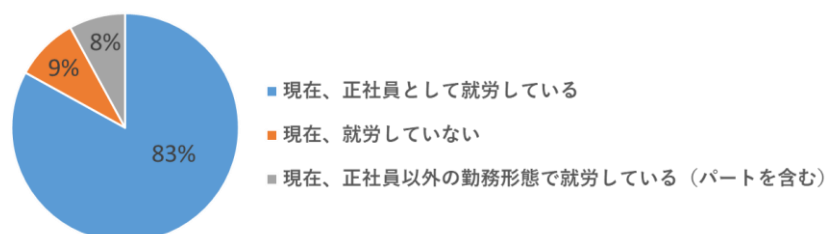
- 実施期間：2019年9月20日（金）～9月30日（月）
- 対象者：2011～2015年度（2012年～2016年）に本学文学部を卒業した学生のうち、就職課に「連絡可」として進路届を出しており、メールアドレスを記載していた学生1231名
- 調査方法：メールで依頼、Webフォームで回答
- 回答者数：128人（10%）

2 結果の概要

(1) 現在の就労状況について

現在の就労状況について教えてください。

選択肢：「現在、就労していない」、「現在、正社員として就労している」、「現在、正社員以外の勤務形態で就労している」

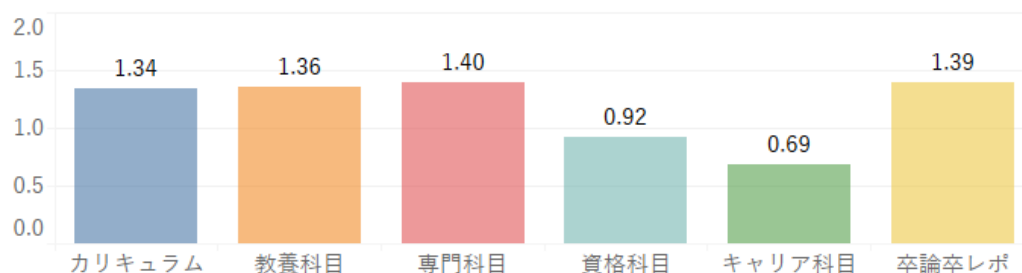


(2) 学びの満足度について

今から大学生生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか？それぞれの項目についてあなたの満足度を教えてください。（4段階評価）

項目：「カリキュラム」「教養科目」「専門科目」「資格科目」「キャリア科目」「卒業論文・卒業レポート」

選択肢：満足、やや満足、やや不満、不満



* 満足(2点)/やや満足(1点)/やや不満(-1点)/不満(-2点)としてスコア化し、各項目について平均を算出

* 「履修していない」を選択した回答は集計から除外

(3) 在学中に身につけたことについて

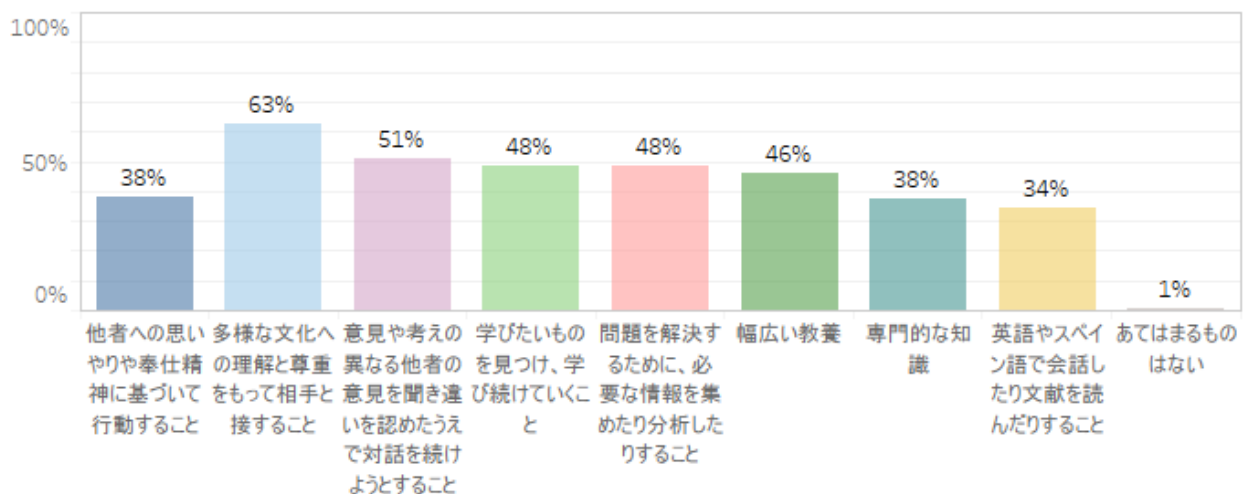
今から大学生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できるようになったと思うものを、いくつでも選んでください。

選択肢と本学の学位授与の方針（DP）との対応

1. 他者への思いやりや奉仕精神に基づいて行動すること（DP2）
2. 多様な文化への理解と尊重をもって相手と接すること（DP5）
3. 学びたいものを見つけ、学び続けていくこと（DP6）
4. 意見や考えの異なる他者の意見を聞き、違いを認めようとして、対話を続けようとする（DP4）
5. 問題を解決するために、必要な情報を集めたり分析したりすること（DP3）
6. 幅広い教養（DP1）
7. 専門的な知識（DP1）
8. 英語やスペイン語で会話したり文献を読んだりすること（DP4）
9. あてはまるものはない

文学部 学位授与の方針（DP）

- DP1 豊かな教養と専門領域の学芸を修得している。
- DP2 建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕的精神を持って行動できる。
- DP3 複雑な事象を前にしても、問題の根源にさかのぼって論理的に思考を重ね、解決を目指すことができる。
- DP4 言語等によるコミュニケーションの能力を備え、多様な立場や考え方が交錯する中でも対話を続ける姿勢を保つことができる。
- DP5 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重し、国際社会の中で活躍するための基本的な資質を備えている。
- DP6 常に学ぶ態度を忘れず、知識を広め教養を深めて、自分を豊かにしていくことができる。

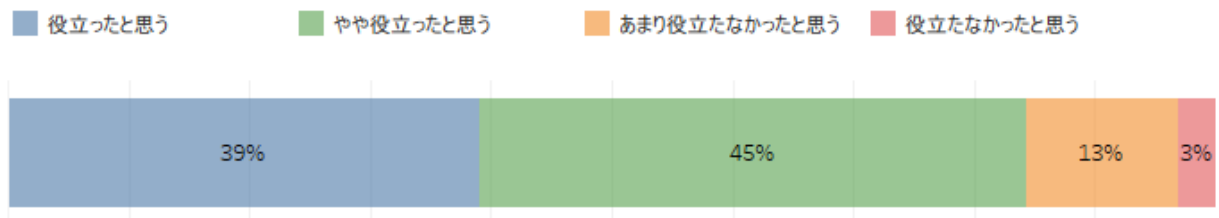


* 当該選択肢を選んだ回答者の割合を選択肢ごとに算出

(4) 卒業後の教育成果について

あなたが本学で学び、身につけたことは、卒業後、あなたが仕事をする上で役立ったと思いますか。
もっとも当てはまるものをひとつ選んでください。

選択肢：役立ったと思う、やや役立ったと思う、あまり役立たなかったと思う、役立たなかったと思う



以上